



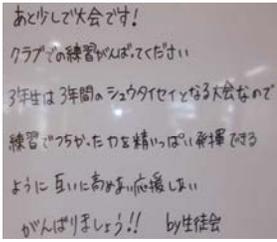
初中タイムス

令和3年度 第4号

初島中学校学校通信
R3、7、20 発行

3年生にとっては最後の大会・・・頑張りました！

7月10日、11日、17日に有田地方総合体育大会がありました。3年生にとっては最後の大会となりました。大会に向けて朝練習も放課後練習も本当によく頑張っていました。大会は今年も無観客で行われましたが、子どもたちの心には一生の思い出として刻まれたことだと思います。スポーツには勝ち負けが付きまといますが、勝っても負けても、心に刻まれた思い出や頑張った思いは子どもたちの支えとなりますし、成長の糧となります。



部活を通して少しずつ成長する子どもたちの姿を目にできることは本当に嬉しいです。

【県大会出場】卓球: 上田桃愛さん、上田桜愛さん 水泳: 北村心結さん
陸上: 黒崎陸斗くん、川原理央さん、黒崎心晴さん



「閉校」に向けての取り組み・・・

初島中学校は、閉校に向けての取り組みについて、閉校記念行事実行委員会で検討をしています。その中で、「記念誌」を作成しようということになり、ただ今急ピッチで進めています。

初島中学校への思いを綴っていただいたり、スキャナで取り込んで電子データにするために卒業アルバムをお借りしたりなど、地域の方々に沢山のご協力をいただきながら進めています。

初島中学校は、昭和27年までは椒中学校といって今の初島中学校校歌とは違った校歌でした。

(S27卒業アルバムより)



テスト前も本当によく頑張ります！中学生！

こじんまりと家族みたいな初島中学校・・・先生と子どもの距離が近いのが自慢です！学習に関しても、距離が近いです。初島中学校では、授業だけでなく、毎日6限終了後には「基礎学タイム」を行っていて、授業で既に学んだ内容を、一人ひとり個人持ちのタブレットを使って、復習問題に取り組むのですが、分からないところがあれば先生に質問したりします。

それに、テストの前は、「基礎学タイム」だけでなく、放課後に「質問学習」を行います。タブレットドリルで分からないところはもちろん、テスト勉強をしていて、分からないところは教科の先生に質問します。各教科の先生は、決まった教室で待機していて、子どもたちがその先生の所に行って教えてもらうのです。今回の期末テストの前にも随分と頑張っていました。



GIGAスクール構想・・・少しずつですが確実に進めています。



「子ども達一人ひとりがタブレット端末を使って、より豊かな学びを・・・」を目指して取り組みを進めているGIGAスクール構想の様子は以前にもお伝えしました。

授業の中では、友達の意見をモニターで一目で見ることができたり、それをもとに自分の意見と比べてみたり、みんなでアイデアを集めたりなど、今までは少し時間がかかっていた学習活動も効率よく行えるようになっていきます。タブレットという便利な道具のおかげです。

放課後の「基礎学習の時間」は、以前はパソコンで呼び出した学習プリントを用紙に印刷して学習していました。でも、今はタブレット上で学習しています。随分と時間短縮ができ、効率化が図れています。



このように、1学期は学校で自分のタブレットを使って学習を進めてきましたが、夏休みはお家にタブレットを持って帰り、家庭学習に役立てる取り組みを進めます。毎日「基礎学習」で取り組んでいる学習プリントを、夏休み中の宿題としてお家で取り組みます。また、オンラインで担任とやりとりをする「オンライン登校日」を実施します。

少しずつですが、子どもたち一人ひとりが豊かな学びに繋がられるよう取り組みを進めていきます。



「子どもたちのために・・・」と中高生新聞をご寄付いただいています！

子どもたちには、国語科の授業でも、社会科の授業でも、いろんな場面で新聞を読むことを勧めています。自分たちの生活と政治や社会が繋がっていることを知ることはとても大切だからです。また、新聞を読むことで言葉の力が高まります。言葉の力が高まることは、考える力が高まることに繋がります。そうすれば、より豊かな人生を送ることに繋がっていきます。豊かな人生を送るためにも、子どもたちには、是非新聞を読んで欲しいと願っています。

とはいえ、なかなか新聞を読むことが少ない子どもたち・・・そんな子どもたちに少しでも読んで欲しいと、ずっと中高生新聞をご寄付下さっている方がいます。(株)東亜生コンの代表取締役 木下京美さんです。

木下さんのおかげで、普段は余り新聞を読まない子どもたちも、手にとって読んでいる姿を目にします。子どもたちに新聞を読む習慣、学びの機会を与えて下さって、本当に感謝しております。

今月も木下さんにご寄付いただいた新聞が図書室にあります。生徒の皆さん・・・是非たくさん読んで下さい。

